

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第123号

平成30年6月20日発行
事務局：県立青少年センター
科学部 科学支援課
電話：045-263-4470

梅雨に咲く花、年中元気な子ども達

最近、右の写真の花をよく見かけます。通勤途中に写真を撮ってみたものの、なかなか花の名前を思い出せず、図鑑を見ても載っておらず（調べ方が悪かったかも）、放置しておいたら先日テレビ番組の中で、「今が“タチアオイ”の見頃です。」と、この花が紹介されていました。「そうだ、“タチアオイ(立葵)”だ！」タチアオイは、アジサイと共に梅雨の時期とちょうど開花期が重なります。（それにしても記憶の引出しが最近開きにくくなってきました…）



移動科学教室（鎌倉会場、大磯会場）

梅雨時でも元気な子供たちを相手に、協議会事務局（青少年センター科学部）の主催事業である「移動科学教室」を今年度も開始しました。これは、科学実験ショーと科学工作を組み合わせたイベントです。毎年、開催地を変えて、県内市町村の公民館等で無料で行っています。会場によって定員は50～60人程度ですが、毎回、定員を上回る応募があり、人気のプログラムです。別事業の「指導者セミナー」（地域での理科教育指導者養成講座）の修了生の方にも協力していただいております。



昨年度（H29年度）の主催型移動科学教室は県内7カ所（藤沢、厚木、平塚、伊勢原、茅ヶ崎、座間、横須賀）で開催しました。合計で621名（小学生と保護者）の参加者に科学を楽しんでもらいました。また、子供会、小学校PTA、地域指導員から依頼されて開催した団体科学教室は、16回実施し、2,178人（小学生、保護者、一般）の参加がありました。

今年度は回数を増やし12会場を予定しています。（鎌倉、大磯、座間、横浜、大和2回、相模原、伊勢原、三浦、真鶴、小田原、川崎）



会場（日にち）	鎌倉青少年会館（6月3日）	大磯町立ふれあい会館（6月10日）
実験ショー	<p>【燃え方のふしぎ】</p> <p>炎色反応で炎の色が変化することに驚いたという感想や、爆発の音に強い興味を魅かれたという感想が多かったです。燃えるという現象についてより深く興味関心を持ってもらうことで、自然現象をより身近に感じてもらえることができました。</p>	<p>【空気のふしぎ】</p> <p>巨大空気砲から空気の塊が輪になってでてくることや、大気圧によってペットボトルが持ち上がることに、とても「ふしぎ」と感じてくれたようです。大気圧により4Lのペットボトルが持ち上がると、子ども達だけでなく保護者の方々も驚いていました。</p>
科学工作	<p>ふうふうこま、ストローとんぼ、キャップホイッスル</p>	<p>ふうふうこま、ストローとんぼ、キャップホイッスル</p>

今年の「科学の祭典」は8月12日

当協議会が共催する「青少年ための科学の祭典2018神奈川大会」を、今年度も青少年センターで開催いたします。(8月12日(日曜)、10:00~15:30です。)会員の皆様にも毎年、出展のご協力をいただいております。

「**青少年のための科学の祭典**」は、理科、数学、科学技術などの分野の実験や工作を来場者楽しんでもらう参加体験型イベントです。「**全国大会**」が毎年夏休み中に、東京・科学技術館で開催されており、その「**神奈川大会**」を青少年センターで平成18年度より開催しています。



参加した子ども達が自ら触れて、作って、動かして、科学を体験することでその面白さや身の周りの自然の不思議に目を開き、夢中になって追究する楽しさ、

もの作りに打ち込む充実感、満足感など、貴重な体験を分かち合うことを目指した祭典です。



【↑今年の科学の祭典ポスター】
(デザインは全国大会本部)

【↓昨年の科学の祭典の様子】(左:実験ショー、中:コピーの仕組み、右:科学工作)



また、遠方のため来られない子ども達のために、この祭典のミニ版を県内4ヶ所(海老名11/24、横須賀12/15、相模原1/19、秦野2/23)において、「**子どもサイエンスフェスティバル**」として開催いたします。こちらもご協力よろしくお願ひいたします。

新会員「KYB(カヤバ)史料館」様



相模原市にあるKYB相模工場に「KYB史料館」があります。KYB株式会社は、油圧技術を生かしたショックアブソーバや油圧機器等を製造しています。

「史料館」では、油圧技術のルーツや油圧技術の歴史を展示しています。左の写真は、資料館に展示されているゼロ戦の主脚です(KYB製)。瀬戸内海の海底から引き上げられたもので、30年以上海中にありながらメッキ部分はピカピカのままです。当時の技術の高さを示しています。【KYBさんのHPから引用】

子ども達の科学体験活動推進のために、よろしくお願ひします。



事務局から

当協議会の事業や、事務局(青少年センター科学部)の事業を、この「協議会 NEWS」でお届けしておりますが、ご感想やお気づきの点がありましたら事務局までメール等でお寄せください。前号の「江の島特集」にも、会員さんからご感想をいただきました。会員さんからの声が、事業改善につながるよう取り組んでまいります。(事務局 : 村上、高相、山田、宮城)



事務局(科学部)移転